

平成27年度 市会事務局運営方針



京都市会 親子ふれあい議場見学会（平成26年11月3日）

<市会マスコットキャラクター>



またきち

マタリーヌ

平成27年5月

京都市会事務局

I 市会事務局の運営の基本方針

地方分権が進展する中で、二元代表制の一翼を担う機関として、団体意思の決定機能、執行機関の監視機能、政策の立案機能などを発揮し、多様な民意を地方自治体の政策にいかすという地方議会の役割は、ますます重要なものとなっています。

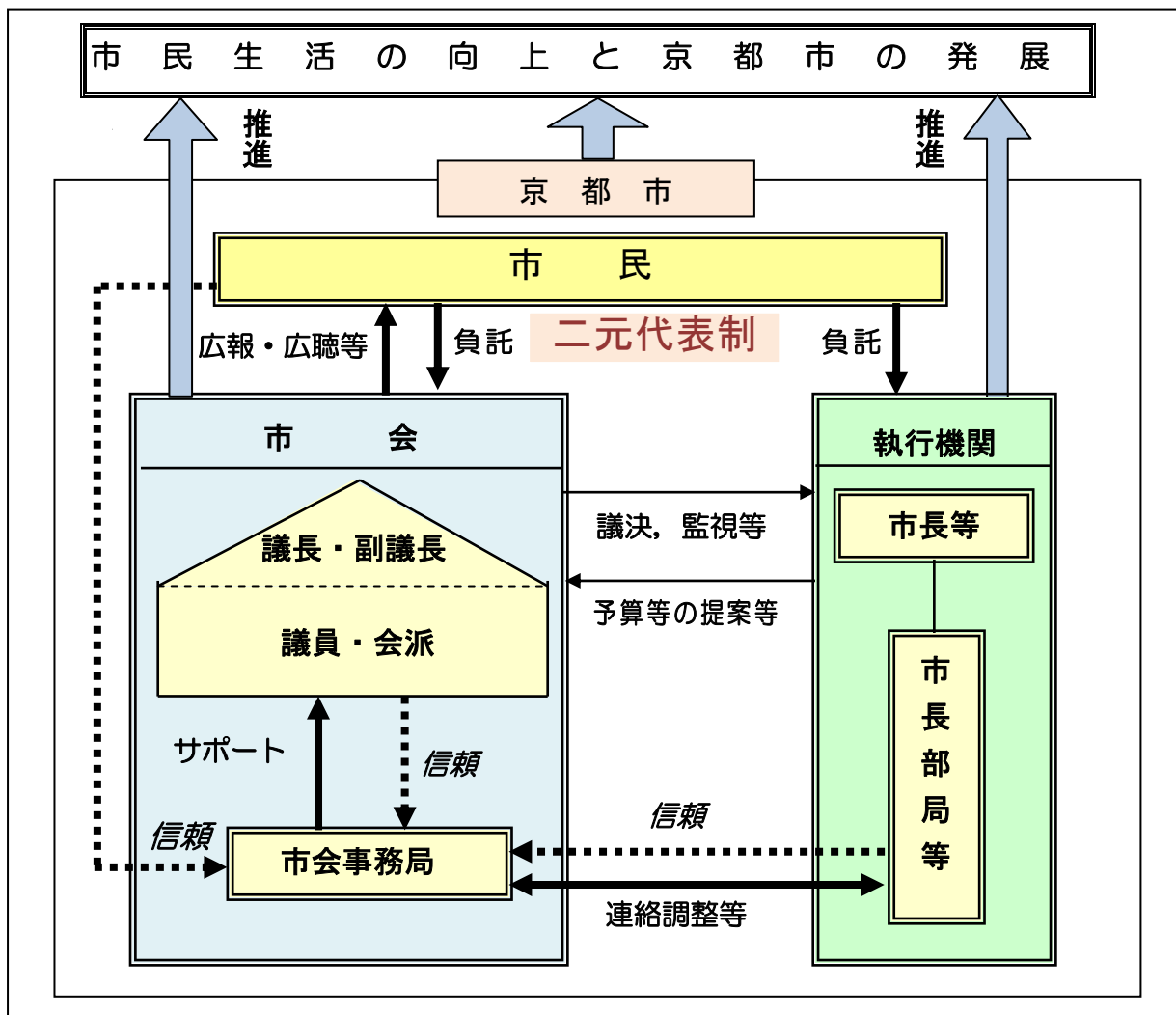
このため、京都市会においては、これまでから積極的に市会改革に取り組んでおり、昨年度には、京都市会及び京都市会議員の役割や目指すべき方向性を示した「京都市会基本条例」の施行、災害等の突発的な事案や緊急性のある課題に対し、速やかな対応を可能とする「通年議会」の導入など、議会機能の充実・強化を図るとともに、そうした活動内容を市民の皆様へ発信してきたところです。

今後とも、時代に即した議会運営と不断の市会改革が求められる中、市会事務局は、市民の皆様からの負託を受けた京都市会の活動をサポートすることにより、市民生活の向上と京都市の発展に貢献できるよう、以下の基本方針のとおり事務局運営を行ってまいります。

＜平成27年度 市会事務局の運営の基本方針＞

京都市会が、京都市会基本条例に基づく具体的な取組を着実に実施できるよう、市会事務局は、議員・会派、市民の皆様、執行機関からの信頼を得て、事務局機能を確実に発揮してまいります。

<市民と市会，執行機関の相関図>



Ⅱ 平成27年度 重点方針と具体的取組

重点方針1 円滑な議会運営及び活発な議会活動のための事務局機能の発揮

京都市会が、市民の皆様の代表として、団体意思の決定機能、執行機関に対する監視機能、議会独自の政策立案・政策提案機能等を十分に発揮し、円滑な議会運営及び活発な議会活動が行われるよう事務局体制を強化し、的確なサポートを行ってまいります。

<具体的取組>

- 議員改選後の新体制に基づく「通年議会」の円滑な運営
- 会派構成の変更に伴う議会棟改修の円滑な実施
- 正副議長公務の的確な遂行に向けた秘書機能の発揮
- 議会独自の政策立案、政策提案に資する調査及び法制機能の充実
- 市会図書・情報室の調査（レファレンス）機能の充実
- 議会活動関連情報の収集・分析及び議員への積極的な情報発信
- 国内外の先進事例調査のサポート

重点方針2 「見える市会」「伝わる市会」の実現に向けた広報機能の発揮

京都市会では、これまでの市会改革等を通じて、積極的に広報の取組を推進してきました。

今年度は、事務局体制を強化し、多様な広報媒体による、タイムリーで高頻度な情報発信など、更なる広報の充実に努め、市民の皆様に「見える市会」「伝わる市会」の実現を目指します。

<具体的取組>

- 市会だよりの充実（年4回から年7回に発行回数を増加）<新規>
- 誰もが利用しやすく、必要な情報を手に入れることができる市会ホームページの作成
- 新聞広告を活用した市会トピックニュースの発信
- 新たな広報媒体を活用した情報発信<新規>
- 市会紹介DVDの作製等、次の世代への議会認知度の向上に向けた取組の推進<新規>
- 本会議録・委員会記録の早期公開

重点方針3 組織力の強化と事務局職員一人一人の能力強化に向けた取組の推進

各種会議等を活用し、事務局の課題や情報を組織的に共有するとともに、各所属の相互連携を図るなど、一体的な組織運営を行います。

また、職場研修や外部機関が実施する研修等を通じて、事務局職員の育成とレベルアップに努め、組織的な経験・ノウハウの蓄積、継承及び向上を図ります。

<具体的取組>

- 市会の権能強化のための更なる事務局機能の強化及び議会費予算の確保
- 管理職会議，係長会議，職場会議等の実施による組織的な情報共有
- 各担当業務の繁忙期を見据えた，事務局内相互の連携強化
- 研修やOJT（職場内訓練）等を通じた事務局職員の能力開発，業務ノウハウの組織的な継承
- 公務員倫理の向上，コンプライアンス及び情報セキュリティ対策の推進
- 「真のワーク・ライフ・バランス」の実現による時間外勤務の一層の縮減

Ⅲ 平成27年度 議会費予算の概要

平成27年度議会費当初予算の総額は23億7,800万円で、前年度比1億2,900万円の増となっています。

予算の内訳は、人件費（議員報酬・職員給与等）は16億9,500万円で、うち議員定数2名減を反映した議員報酬・期末手当は10億6,667万円（前年度比1,530万円減）です。また、物件費は6億8,300万円で、主なものは、政務活動費、他都市調査出張経費、市会だよりの作成・配布、本会議テレビ中継、市会広報ポスター・チラシの作成経費などです。円滑な議会運営を図るための予算を確保するとともに市会だよりの発行回数を増やすなど、市会広報の充実に重点を置いた、「見える市会」「伝わる市会」をより一層推進する予算としています。また4月の市会議員改選に係る必要経費を計上しています。

平成27年度 議会費予算

(千円)

	27年度当初予算	26年度当初予算	前年度当初予算額との比較
人件費	1,695,000	1,641,000	54,000
議員報酬・期末手当	1,066,673	1,081,977	△15,304
議員共済費	327,011	271,055	55,956
職員給与等	301,316	287,968	13,348
物件費	683,000	608,000	75,000
政務活動費	435,240	447,120	△11,880
他都市調査, 本会議録・委員会記録作成等	90,330	95,014	△4,684
市民に向けた情報発信 〔市会だより作成・配布 ・本会議テレビ中継の実施 ・市会広報ポスター・チラシの作成 ・インターネット動画配信 ・会議録検索システム 等〕	61,736	59,183	2,553
<新規> 市会だよりの充実	7,000	0	7,000
<新規> 市会紹介DVDの作製	2,000	0	2,000
議員改選に係る議会棟改修	80,000	0	80,000
市会図書・情報室運営費	4,273	4,273	0
その他事務経費	2,421	2,410	11
計	2,378,000	2,249,000	129,000